

## 会期中の主な動き

### 特別委員会の開催

- 人権・少子高齢化問題等対策特別委員会…………… 12月13日
- 行政改革・基本計画等に関する特別委員会…………… 12月13日

## 議決結果・意見書等

項目	件数	概要	結果
予算案件(知事提出)	6件	令和5年度和歌山県一般会計補正予算 ほか	可決
条例案件( // )	15件	知事及び副知事の給与その他の給付条例の一部を改正する条例 ほか	可決
決算案件( // )	2件	令和4年度和歌山県歳入歳出決算の認定について ほか	認定
その他案件( // )	22件	令和5年度建設事業施行に伴う市町村負担金について ほか	可決
請願	1件	加太漁業協同組合の共同漁業権の区域内での小型機船及びき網漁業の操業禁止を求める請願	継続審査
意見書	2件	消防防災ヘリコプターの運航の強化を求める意見書	可決
		有害鳥獣被害防止対策の充実を求める意見書	

### 自然博物館の今後

**問** 知事は、有識者の意見を聴くと言いつつ、教育長は海都市の意見も聴きながらと言いつつ、どのように検討を進めるのか、知事に伺う。

**答** 今後は、検討委員会を立ち上げ、自然博物館の必要性やあり方も含め、施設整備に関して幅広く有識者の方々の意見を聴く予定です。その意見を踏まえた上で、県の財政状況や災害リスク等を見極め、海都市とも協議を行いながら、検討を進めます。

### 子育て支援

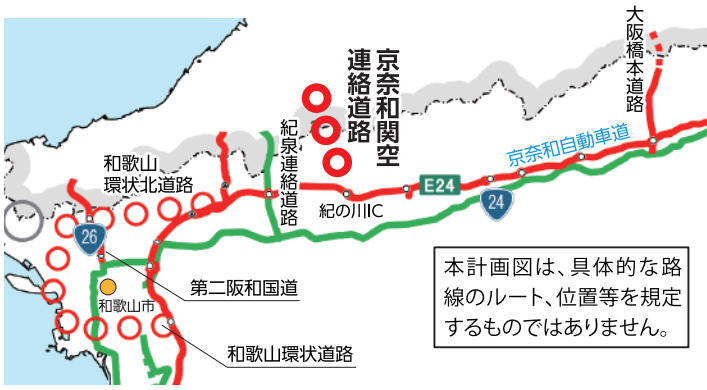
**問** 子供の医療費、保育料、おむつ定期便、給食費、公共施設の入場料について、所得制限を設けず無償化できないか。

**答** 県では、子供の医療費について、乳幼児までの支援を行っており、加えて23の市町村では、18歳まで対象年齢等を拡大しています。保育料は、第3子以降の子がいる世帯と第2子がいる年収360万円未満相当の世帯については無償としています。これらを含めた5つの全てを

### 京奈和関空連絡道路の実現

**問** 京奈和関空連絡道路の実現に向けた県の取組状況について伺う。

**答** 県では、2016年度に大阪府、泉佐野市、紀の川市などとともに京奈和関空連絡道路調査検討会を設立し、国へ早期事業化の要望を行ってきた結果、2021年7月には国の計画において、高規格道路の調査中間に位置付けられました。引き続き、当該検討会において、整備効果や必要性の検討を行うとともに、国に対し概略ルート・構造の検討に早期に着手するよう働きかけます。



本計画図は、具体的な路線のルート、位置等を規定するものではありません。

### 電動キックボードの安全対策

**問** 電動キックボード利用者に対する安全対策や規制等について伺う。

**答** 電動キックボードの販売者やシェアリングサービスを行う事業者は、購入者又は利用者に対する安全教育を行うことが努力義務とされており、県警は、これら事業者に助言、指導を行っています。併せて、街頭における広報啓発や高校生をはじめとする若者等への安全教育、守るべきルールの周知等を行っています。



さらに、飲酒運転や信号無視など危険性が高い違反の根絶に向け、指導取締りを推進し、交通安全対策に万全を尽くします。

### 和歌山らしい教育の充実

**問** キャリア教育について、県の取組や方向性について伺う。

**答** 小・中・高等学校では地域・社会や産業界等と連携しながら、職場見学や職場体験活動、インターシップを実施するなど、勤労の尊さや生産の喜びなどを実感できるような学びを行っています。また、コ

ナ禍を経てICT環境の整備が進み、オンラインによる工場見学や企業インタビューなど、学習活動の選択肢が増えています。今後も全ての校種で、児童生徒がキャリア教育で学んだことや成長したことを、キャリア・パスポートに記録するなど、系統立てたキャリア教育の充実を図ります。



土産店での職場体験活動

### こどもまんなか社会の実現

**問** こどもまんなか社会の実現に向けて、県はどう取り組むのか。

**答** 国において「こども大綱」の策定が見込まれることから、県としてはこれを勘案して、2025年度から始まる県のこども計画を策定する予定です。その計画には、子育て支援、母子保健、子供の貧困対策、子供の虐待防止、子供・若者の育成など、子供や若者に関する施策の方向性や具体的な取組を盛り込みます。今後も、全ての子供たちが健康やかに成長し、将来にわたって幸福な生活を送れる社会を目指し、施策を着実に実施します。

### パラスポーツコミッションの設置

**問** パラスポーツコミッションを設置できないか伺う。

**答** 障害のある方がスポーツ合宿を行う場合、いろいろな面で配慮が必要となります。そういった中で、障害に理解があり、専門的知識を有する人のサポートがあれば心強くなります。「南紀エリアスポーツ合宿誘致推進協議会」ではパラスポーツ合宿受入れの実績があり、今後、この協議会と、県や関係団体が連携し、積極的にパラスポーツ合宿の受入れを進めていく延長線上で、独立したパラスポーツコミッションの設置について検討します。

### 拉致問題の解決

**問** 拉致問題について、知事の所見を伺う。

**答** 拉致問題は、基本的人権や、我が国の主権を侵害する極めて重大な問題です。拉致問題の解決に向けて、国民は毅然とした態度を示す必要があります。本問題が風化することのないよう各世代への啓発が重要です。県としては、被害者家族による講演やパネル展示を通じて県民への周知や関心を高めるため、各都道府県で順次開催されている「拉致問題を考える国民の集い」を、来年度和歌山県で開催すべく国と調整中です。今後も、拉致問題の早期解決を各方面に訴えていきます。